

【新装版】

和讃

仏教のポエジー

真宗

たけいし あきお

武石彰夫著 ▼46判・並製カバー・228頁・定価一、九八〇円

2024年9月刊行



宗教感情の結晶として高い文学性を持つ和讃。起源と発展を辿り、込められた詩情を解説。

【目次】

第一章 和讃の形成と展開

- 一 仏教歌謡と和讃
一 仏教歌謡（仏教歌謡の定義 仏教歌謡の分類 讃嘆以前の讃嘆 漢讃 教化 訓伽陀 講式 表白文・願文・諷誦文・祭文）／二 和讃（和讃の定義 和讃の展開）
- 二 和讃の受容と変貌
一 和讃の展開——受容と変貌／二 受容の諸相／三 「行基菩薩和讃」の受容／四 「天台大師和讃」の受容
- 三 和讃の形相
一 和讃の形成／二 和讃の本質——「阿弥陀の和讃」に見える／三 混交と融合——呪詞性／四 中世の和讃
- 四 顕密復興のうたごえ
一 和讃の中世的展開／二 中世における高僧讃／三 「過海大師和讃」／四 大唐三蔵和讃／五 釈尊讃歌のひびき
- 五 芸能としての和讃
一 法会の芸能性／二 芸能における和讃の摂取／三 和讃の諸相

第二章 親鸞における詩の創造

- 一 浄土讃歌のこころ
- 二 『三帖和讃』の成立と法文歌
一 仏は常にいませども／二 『三帖和讃』と法文歌／三 和讃史における『三帖和讃』の位置
- 三 「浄土和讃」の文学性
一 「浄土和讃」巻頭巻尾の文／二 いわゆる巻頭和讃の解釈に

ついで／三「観経意」の構成／四むすびにかえて

第四章 『三帖和讃』をめぐる課題

- 一 「南天竺の鉄塔」讃歌——密教のうたごえ
「南天竺の鉄塔」／二「法界宮殿」
- 二 崑崙山の歌謡——西域憧憬
一 仏説における「崑崙山」／二「崑崙山の麓には」／三中国神話に見る崑崙山／四西域の歌謡

あとがき

◆著者略歴

武石彰夫（たけいし あきお）

一九二九年東京に生まれる。一九五八年法政大学文学部日本文学科卒業。高知大学教授、朝日大学教授、聖徳大学教授などを経て、仏教文化研究所所長。また大学受験ラジオ講座の国語講師も勤めた。文学博士。二〇一二年逝去。
著書に『歌謡文学史（研文社）』、『仏教歌謡の研究（桜楓社）』、『仏教歌謡』（桐書房）、『仏教文学論考』（白帝社）、『現代文の攻略法7則』（三省堂）、『仏教文学の魅力』（佼成出版社）、『精選仏教讃歌集』（佼成出版社）、『仏教文学を読む事典』（編著／佼成出版社）、『仏教和讃御詠歌全集 全3巻』（校訂／国書刊行会）、『三帖和讃絵鈔』（校訂／古典文庫）、『仏教文学辞典』（共編／東京堂出版）、『今昔物語集本朝世俗部現代語訳対照 全4巻』（旺文社文庫）など多数。

注文書	
(書店印)	
様	冊
ご担当	
法藏館	
武石彰夫著	
《新装版》和讃 仏教のポエジー	
ISBN:978-4-8318-6702-5 C0315	
定価一、九八〇円	住所
お電話	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp